



## 84112-XNE -KOSO FREED WING SPOILER

### 取付・取扱説明書

この度は、無限製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

以下の注意点を正しくご理解の上、お取り付け下さいますようお願い申し上げます。

取り付け後は、本書を必ずお客様にお渡し下さい。

#### ご注意

1. 開封後は、ただちに梱包内容（構成部品表を参照）の不足や破損の無いことを確認して下さい。
2. 取り付け前に取り付け車両の型式の確認を行って下さい。

[適合車種] FREED / FREED + DBA-GB5・6  
DAA-GB7・8

[色記号]	無限色	ホンダ色記号	色名
	WO	NH788P	ホワイトオーキッド・パール
	CB	NH731P	クリスタルブラック・パール
	RN	NH830M	ルナルパター・メタリック
	MT	NH797M	モダンスチール・メタリック
	CO	B553P	コパルトブルー・パール
	BH	B613M	ブルーホライゾン・メタリック
	ZZ	-	未塗装

※色記号はサービスインフォメーションプレートで確認してください。

3. 純正パーツの取り付け・取り外しは、サービスマニュアルに従って、作業を行って下さい。
4. 本製品の加工、組み付け不良、誤使用による不具合・事故等については、弊社は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

ご不明な点がございましたら下記までご連絡下さい。

〒351-8586 埼玉県朝霞市膝折町2-15-11

株式会社 M-TEC 商品事業部 営業1課

【営業時間10:00~17:00（土日・祝日除く）】

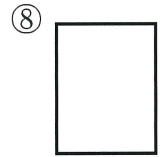
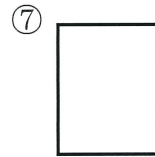
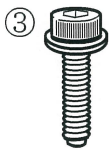
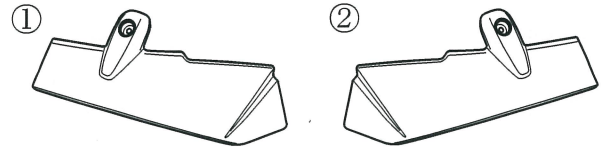
TEL. 048-462-3131 FAX. 048-462-3121

#### お客様へ

1. ウイング スポイラーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、直ちに修復するか取外して下さい。そのままの走行は、事故発生の原因になる恐れがあり、大変危険です。
2. 自動洗濯機での洗車は避けて下さい。ウイング スポイラーに無理な力が加わり、破損の原因となることがあります。
3. 定期的にボルト・ナット類のゆるみ、ガタ等を点検し、取付け状態を確認して下さい。

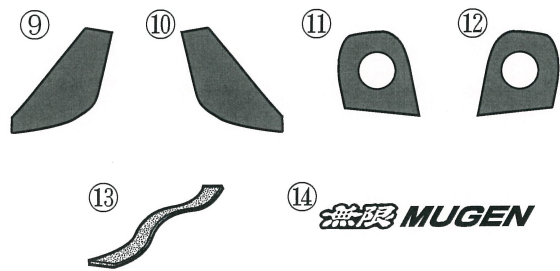
## 【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ウイング スポイラー R	1
②	ウイング スポイラー L	1
③	キャップボルト	2
④	ジャックナット	2
⑤	パッキン	2
⑥	キャップ	2
⑦	型紙 a	1
⑧	型紙 b	1



未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑨	クッション a R	1
⑩	クッション a L	1
⑪	クッション b R	1
⑫	クッション b L	1
⑬	クッションテープ	1
⑭	ステッカー	2



## 【必要工具】

- ・ドリルφ3、φ6、φ8、φ11 ・六角レンチ ・トルクレンチ ・ハサミ ・キリ
- ・イソプロピルアルコール ・ウエス ・マスキングテープ ・タッチアップペイント
- ・ハンドナッター（ポップリベットファスナー製 SC-123J相当）

### ◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意ください。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行ってください。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

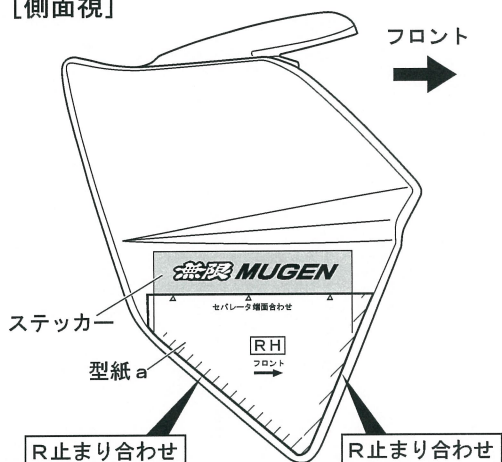
推奨品 塗料：2液製アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

## I. 取付準備

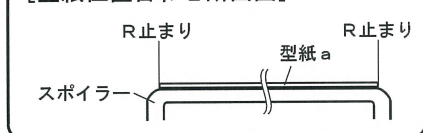
- 《注意》・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
 ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
 ・作業は左右同様にを行うこと。  
 ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後最低1日以上は強い振動を与えたり水がかからないようにすること。

①未塗装品の場合はクリア塗装前に下図に従い型紙 a を使用してステッカーを左右両側に貼り付ける。この時、貼付け面をイソプロピルアルコールで脱脂すること。

[側面視]



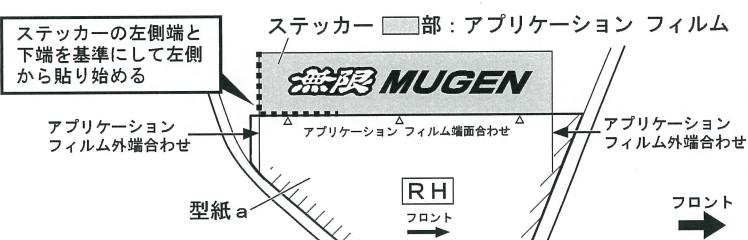
[型紙位置合わせ断面図]



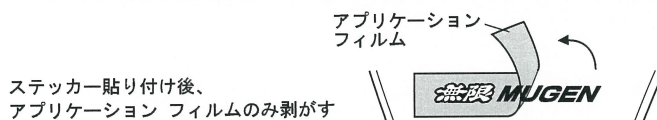
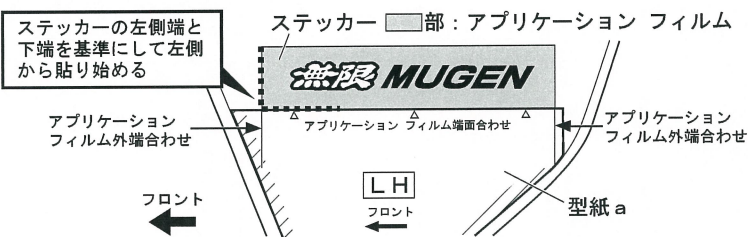
※L側も同様

[拡大図]

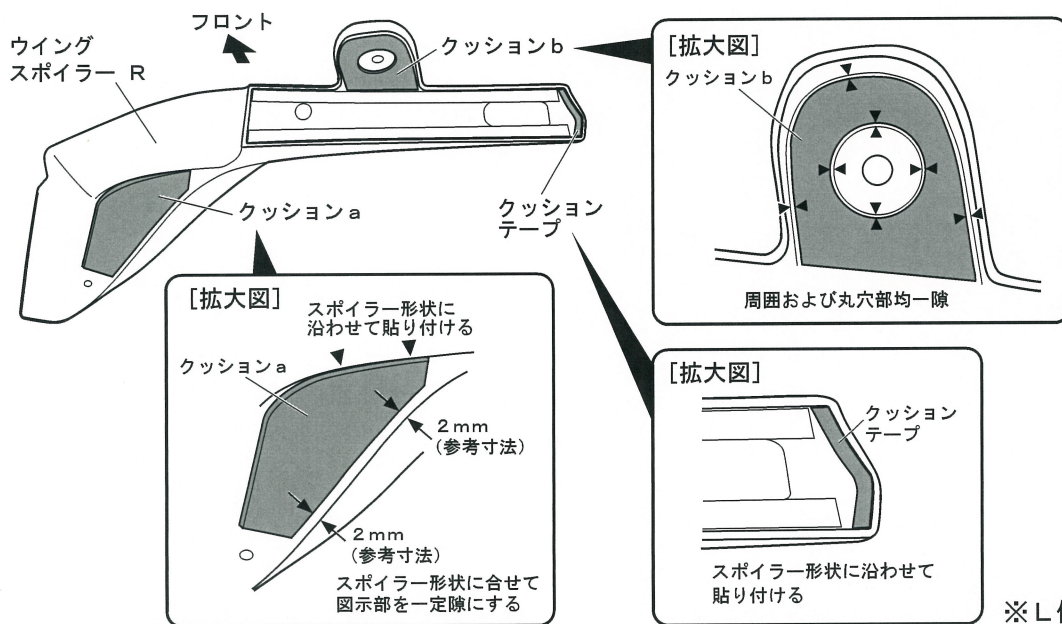
【R側】



【L側】



②未塗装品の場合は塗装後、ウイング スポイラー取付面にクッション a、クッション b、クッションテープを下図に従い貼り付ける。この時、貼付け面をイソプロピルアルコールで脱脂すること。



※L側も同様



③型紙bを使用し、テールゲート上面に穴位置をキリで片側1ヶ所（左右2ヶ所）マーキングする。

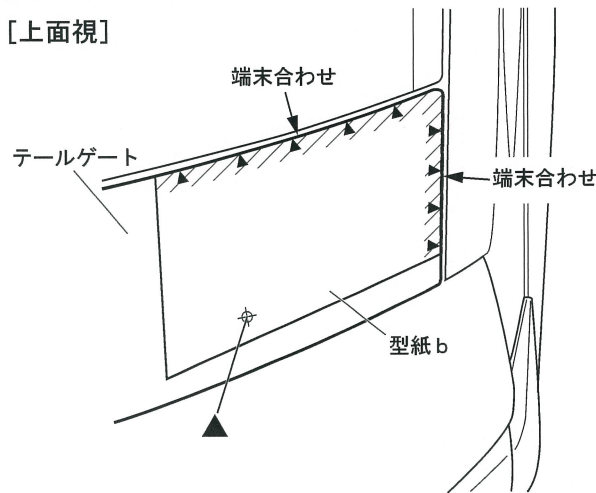
※L側は、型紙bを表裏反転して使用する。

▲(2)



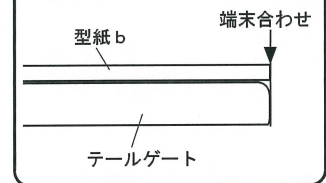
キリ

[上面視]



フロント

[拡大図]



※L側も同様

④マーキング位置にφ11の穴を片側1ヶ所（左右2ヶ所）あける。この時、テールゲート内部に切り粉が入らないようにクリーナー等（掃除機等の吸引機）を使用しながら穴あけ作業をすること。

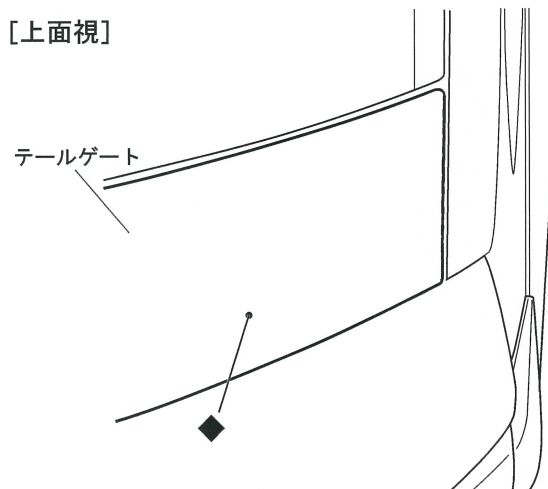
また、穴あけ後はバリ、切り粉を除去してタッチアップ等で防錆処置を施すこと。

◆(2)

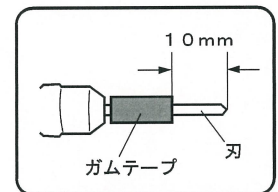


ドリル  
φ3→φ6→  
φ8→φ11

[上面視]



フロント



※L側も同様

⑤テールゲートの上面にあけた穴周囲を脱脂洗浄後、パッキン（A）を片側1ヶ所貼り付け、ハンドナッターでジャックナット（B）を取り付ける。

※ジャックナットを車両に差込む際は、キズが付かないように注意すること。また、空回りや緩みが無いよう、確実に締め込むこと。

A(2)

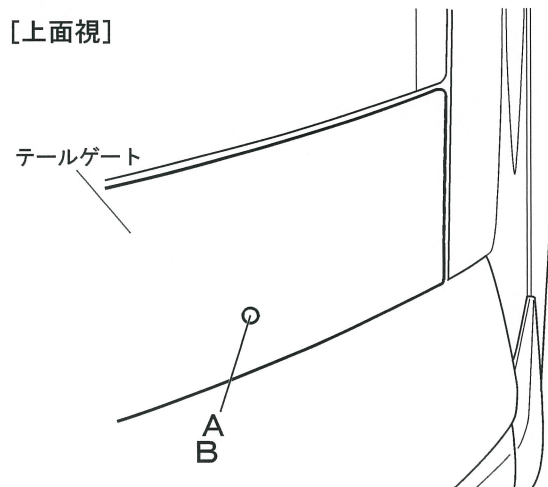
B(2)



パッキン

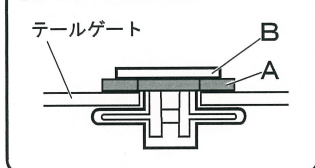
ジャックナット

[上面視]



フロント

[取り付け部断面図]



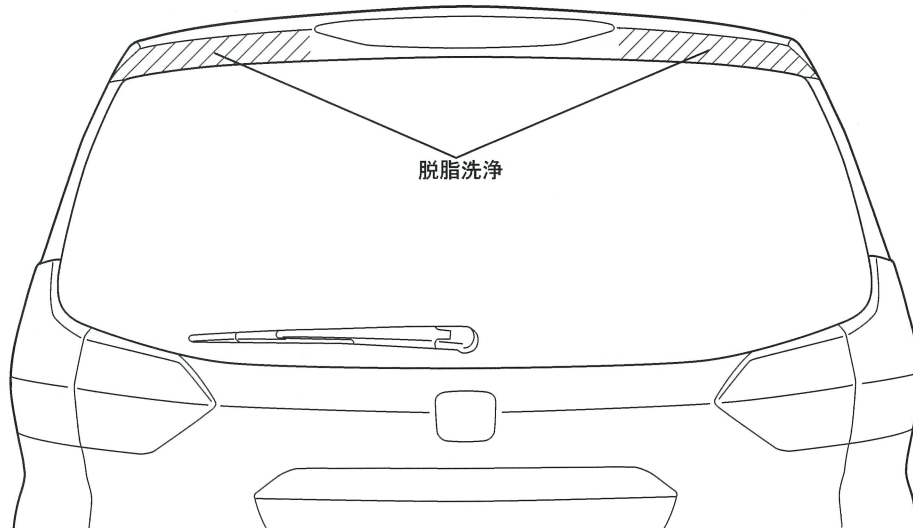
※L側も同様



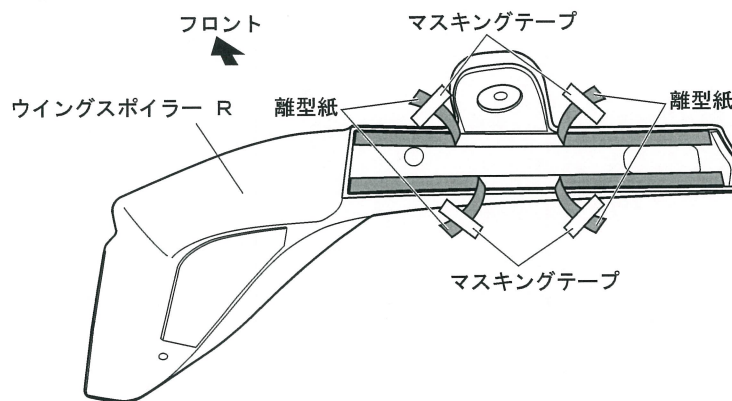
## II. ウイング スポイラーの取付

- 《注意》・ウイング スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。  
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。  
・作業は左右同様にを行うこと。

①テールゲートの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。

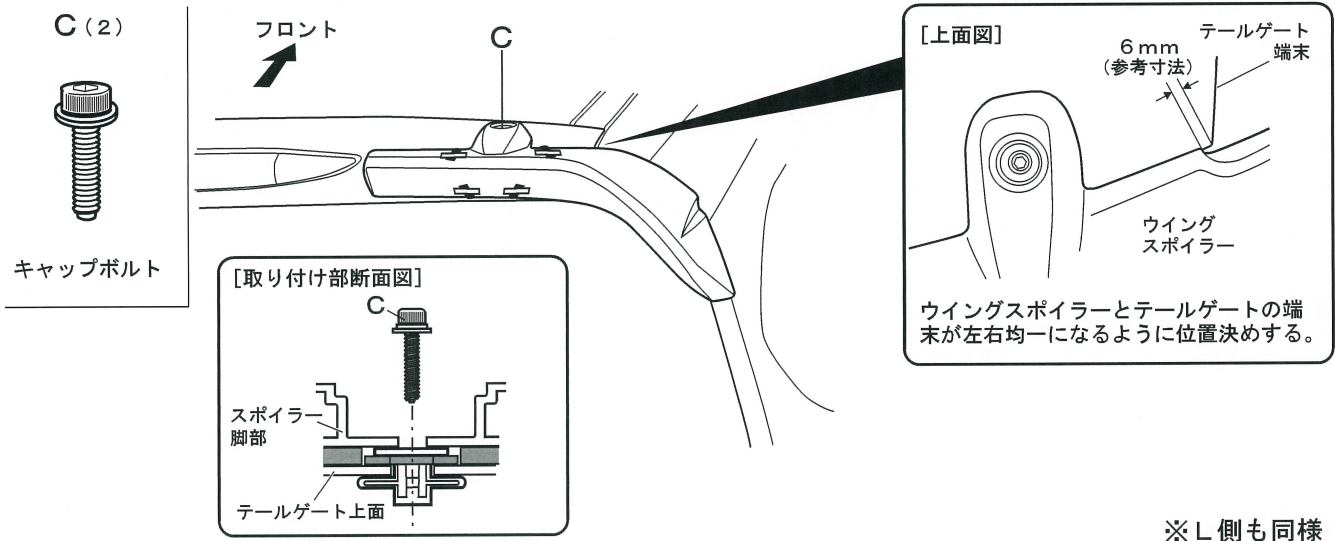


②ウイング スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。



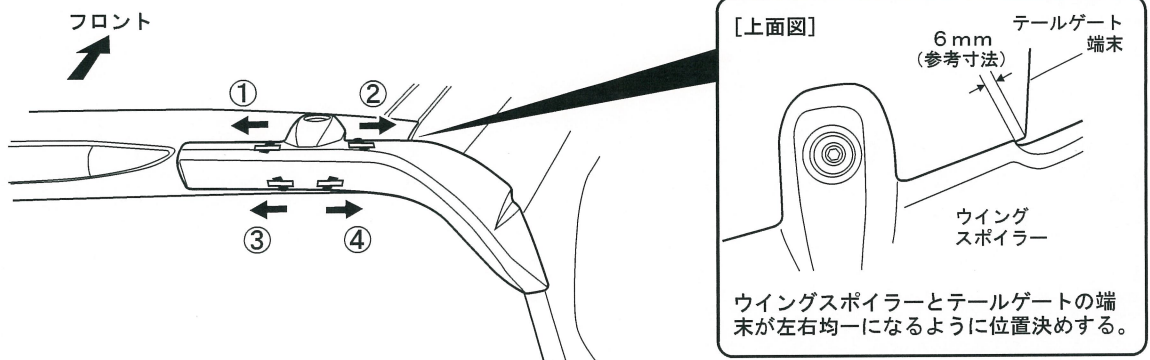
※L側も同様

③ウイング スポイラーを車両に乗せてキャップボルト (C) を使用し、取り付け位置を合わせながら仮固定する。



※L側も同様

④取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし  
 圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。  
 圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

※L側も同様

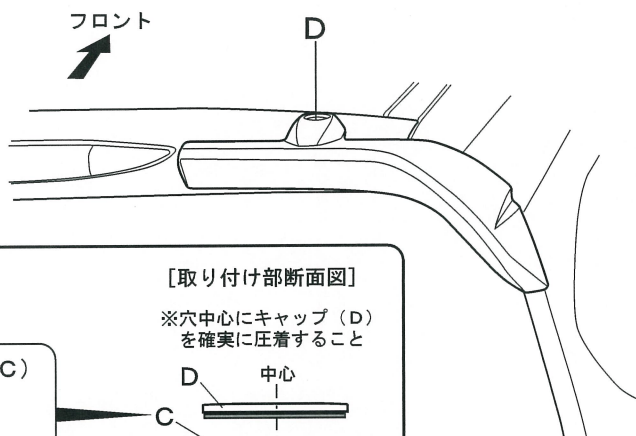
**注意** 接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。  
 温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で 温めてから作業を行うこと。

⑤キャップボルト (C) を本締めし、キャップ (D) を片側1ヶ所 (左右2ヶ所) 取り付け。  
 この時、キャップ (D) の取り付け面をイソプロピルアルコールで脱脂すること。  
 ※キャップボルト (D) の本締めトルク値に注意すること。

D (2)



キャップ



**[取り付け部断面図]**

※穴中心にキャップ (D) を確実に圧着すること

キャップボルト (C)  
 本締めトルク  
 4.5 N.m  
 (0.44 kgf.m)

※両面テープの圧着は十分行うこと。  
 圧着不足は、キャップの浮き剥がれの原因となります。

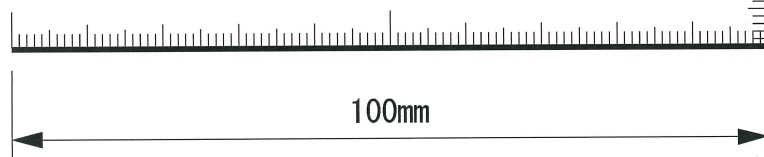
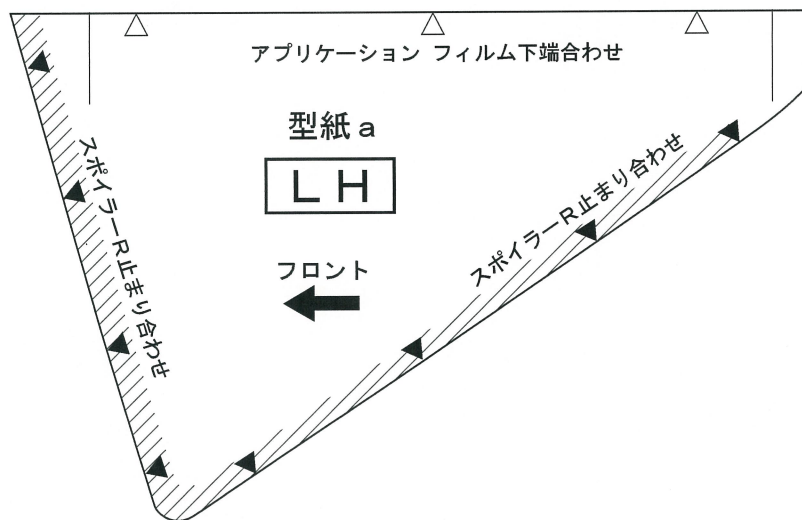
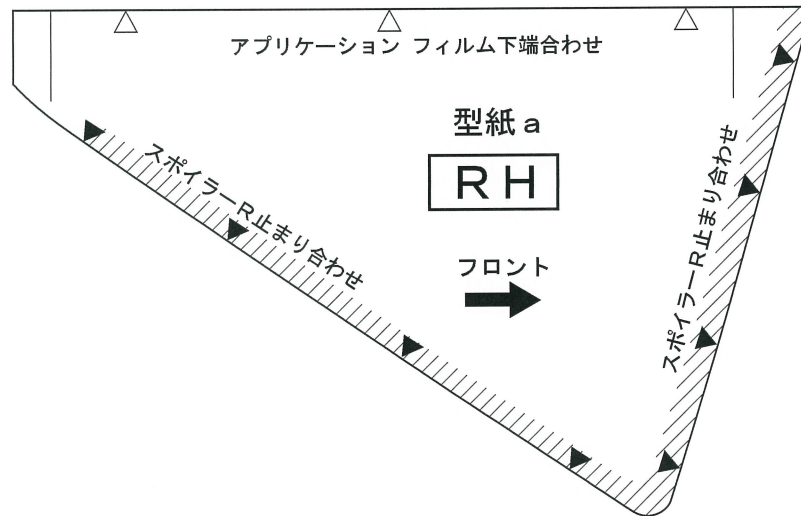
※L側も同様

⑥各部の取り付け状態が完全か確認する。

# 84112-XNE-KOSO

## ステッカー位置出し用型紙

〈注意〉 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。



SCALE 1/1



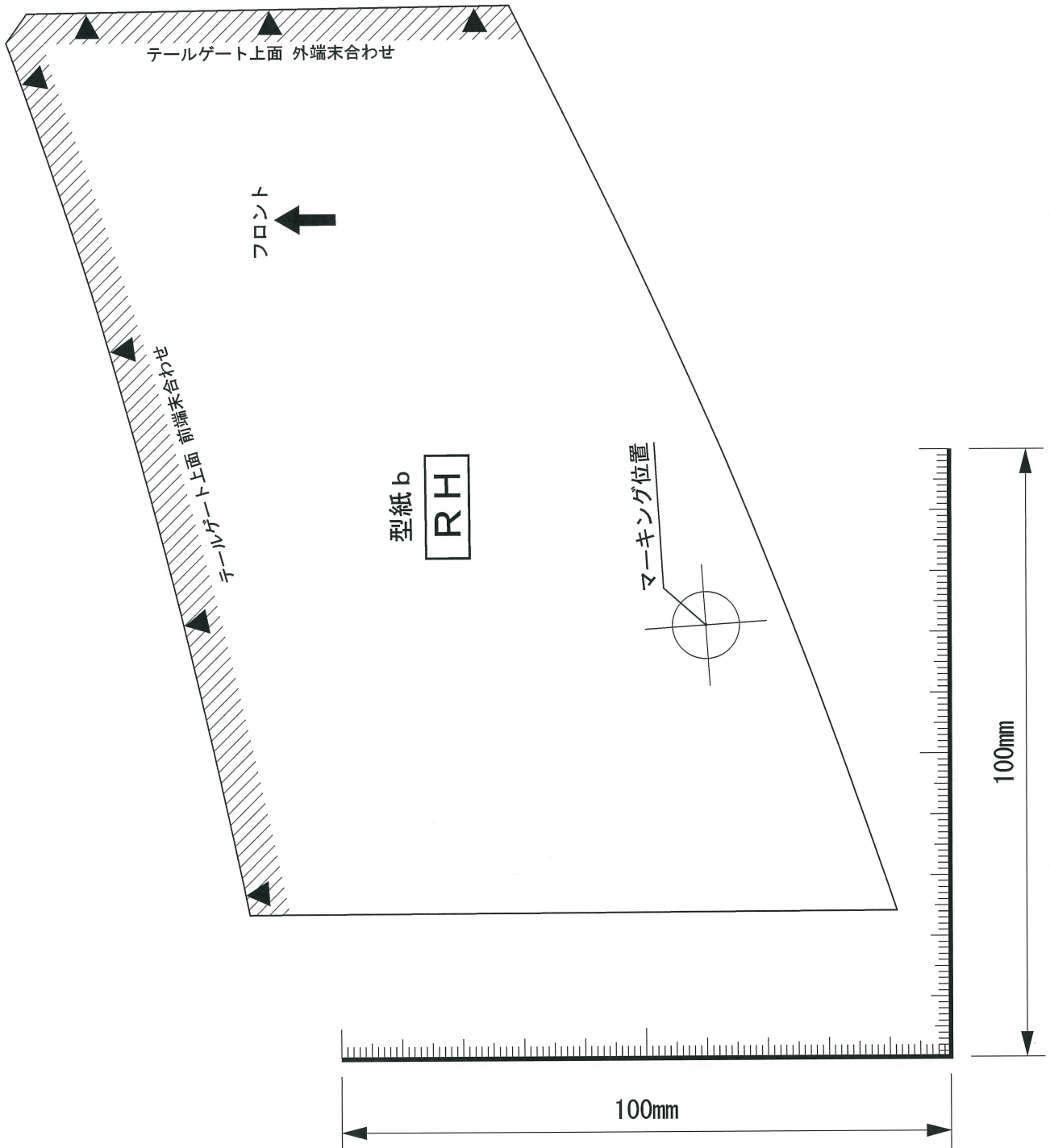
# 84112-XNE-KOSO

## 穴あけ位置出し用型紙

〈注意〉型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。

本用紙はRH用です。

LH側は、表裏反転させて使用してください。



SCALE 1/1